

「安心・活力・発展プラン2015」
(たたき台(7/31現在))

に対する委員意見への対応状況

「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会たたき台(7/31現在)に対する委員意見要旨

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりの推進～子育て満足度日本一の実現～					
子育てしやすい環境づくりの推進					
1	安心	1	現状と課題	「核家族化や地域のつながりの希薄化」 ⇒「ひとり親家庭、共働き世帯の増加や地域のつながりの希薄化、子育てに関する固定的な性別の役割分担」に変更	記載内容を修正します
2	安心	1	現状と課題	2ポツ目と3ポツ目の間に以下を追加 「父親の家事・育児時間が長い世帯ほど、2人目以降の子どもの出産率が顕著に高くなる傾向にあります。また、本県は出産・育児を理由に離職した女性の割合が大変高くなっています。」	記載内容を修正します
3	安心	1	現状と課題	「このため、結婚や出産に関する県民の希望と現実のギャップを解消するとともに」 ⇒「男性の積極的な育児参加への機運醸成や」に変更	記載内容を修正します
4	安心	1	これからの基本方向	「親と子どもが十分に向き合うときを持ち」 ⇒「親と子どもが向き合う時間を十分に持ち」としてはどうか	「親と子どもがしっかり向き合ってほしい」ということを表現したいため、原案どおりとします
5	安心	1	主な取り組み①	「①子どもの育ちを支えるための子育ての支援」中、「県民みんなで」と抽象的に記載している項目とは別に、「男性による子育てを応援する機運の醸成」という項目を追加してはどうか	「機運の醸成」に留まらない男性の子育て参画をさらに推進するため、2ポツ目に「親としての成長を支援するとともに、男性の子育て参画を推進する取組の充実」を追加します
6	安心	2	主な取り組み①	「病児・病後児保育の提供体制の充実」の前に「子供が病気の時に、親が仕事を休める環境づくりの推進や」を挿入	記載内容を修正します(主な取り組み③に移動)
7	安心	2	主な取り組み①	放課後児童クラブにおける、利用期間・利用時間の延長、クラブ従事者(指導者)の増員・待遇向上	「利用期間・利用時間の延長」については、主な取組①の16ポツ目を「～多様なニーズに対応した支援の充実」と修正し、「期間・時間の延長」を含む支援の充実を図ります 「クラブ従事者(指導者)の増員・待遇向上」については、主な取組②の5ポツ目に「放課後児童クラブの従事者の確保と質の向上」を追加します
8	安心	2	主な取り組み①	病後児保育における、利用できる施設の増設、利用手続の簡素化、病後児保育施設の増設	原案の「病児・病後児保育の提供体制の充実」は委員意見の主旨も含む様々な対応を含んだ表現としています
9	安心	2	主な取り組み①	「妊婦を抱える家庭への訪問型支援」を追記	妊婦家庭への訪問支援は、「子育て世代包括支援センター」にて行っており、【安心】1(2)の主な取組①「結婚・妊娠・出産への支援」の6ポツ目「地域の実情に応じて妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の活用促進」と記載しています
10	安心	2	主な取り組み①	「望ましい食習慣の定着の推進」とあるが、「望ましい食習慣」とは何か？ 「柔軟に子どもを受け入れられる認定こども園」⇒「子どもを受け入れられる認定こども園」としてはどうか 「多様化するニーズに対応した支援の充実」⇒「多様なニーズに対応した支援の充実」としてはどうか	「食に対して興味をもち、栄養のバランスのとれた食事を規則正しくとること」を指しており、保育所等での生活の中で身につけていけるよう推進しています 二つ目、三つ目の意見については記載内容を修正します
11	安心	2	主な取り組み①	「子育て世帯や3世代が暮らす住宅改修への支援」は、改修だけでよいか 新築や賃貸は検討しなくてよいか	新築については、計画段階より建築主自ら環境整備ができることから、県としては整備に取り掛かりにくい改修に対して支援を実施しているところ なお、賃貸住宅に対する支援については、住宅所有者の同意を得れば、既存制度のリフォーム支援事業の活用が可能であるため、「住宅」を「住宅(賃貸含む)」に修正します
12	安心	2	主な取り組み②	「保育士確保対策」⇒「保育士の確保の推進」としてはどうか	記載内容を修正します

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
13	安心	286	主な取り組み③	「イクボス宣言など」の後に「男性が育児参画を自らのことと捉える取り組みを推奨する」を加える	記載内容を「企業・団体による男性の子育て参画を推進する職場環境づくりの促進」に修正します
14	安心	2	主な取り組み③	「多様で柔軟な働き方の導入などによる働き方改革の推進」に「(フレックスタイム制の導入等)」の追記を検討	フレックスタイム制の導入は、労働者の自主性を活かした柔軟な働き方を可能とする、働き方改革のツールの一つと捉え、個別事業の中で企業の取組を紹介していきます
15	安心	2	主な取り組み③	「子育てに関する様々な悩みに相談することができる『子育てホットライン』の創設」の追記を検討	主な取り組み①で「いつでも子育てほっとライン」について記載しており、相談対応については、引き続き取り組んでいきます
16	安心	2	主な取り組み③	以下について、抽象的な方向性を並べても、中小零細企業向けの、実効性のある具体的な支援方法を提示しなければ、現実的な解決にはならないと考える ・育児休業や育児短時間勤務を取得しやすい環境づくりの推進 ・多様で柔軟な働き方の導入などによる働き方改革の推進 ・男性の育児参画を後押しする・イクボス宣言などの職場環境づくりや効果的な意識啓発の推進 ・在宅ワークの推進など女性が働きやすい環境づくり	1ポツ目については、従業員が初めて育児短時間勤務を取得する企業に対する奨励金の支給など、子育てと仕事の両立を支援する事業を今年度より実施しており、その主旨で記載しています 3ポツ目については「企業・団体による男性の子育て参画を推進する職場環境づくりの促進」と修正します その他についても実効性のある取組を個別事業の中で検討していきます
17	安心	2	目標指標	目標値を見直すべき	目標を達成したため他の指標に見直します
結婚・妊娠の希望が叶い、子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備					
18	安心	3	現状と課題	出産について、産婦人科医が急激に減少(需要の減少、過酷な労働環境、訴訟)	【安心】2(3)「安心で質の高い医療サービスの充実」主な取組②の2ポツ目「研修資金貸与や診療技術修得のための研修支援制度の活用による産婦人科医・小児科医確保対策の推進」を追加し、医師確保に取り組んでいきます
19	安心	3	現状と課題	「晩産化」でよいか 6ポツ目「慢性疾患等があり」⇒「慢性疾患により」に変更	「晩産化」については、「一般的に、高齢での妊娠・出産は、様々なリスクが高まるとともに、出産に至る確率も低くなるのが医学的に明らかになっていること」、「近年、妊娠・出産年齢が上昇していること」が厚生労働省の報告書でも指摘されていることから、「晩産化」と記載しています 「慢性疾患等があり」については記載内容を修正します
20	安心	3	これからの基本方向	2ポツ目「不妊と不育」⇒「不妊と子育て」に変更 (「不育」という言葉の意味がわかりづらいため)	「不育」を、「不育(妊娠しても、流産を繰り返すなど出産に至らない病態)」と修正します
21	安心	4	主な取り組み①	結婚→出産というプロセスを重視する必要はない 妊娠し、出産、それから自由に選択できること	国立社会保障・人口問題研究所の第15回出生動向基本調査(H27)では、18～34歳の未婚女性の89.3%が「いずれ結婚するつもり」と考えており、また25～34歳の未婚女性の「独身にとどまっている理由」のトップは「適当な相手にめぐり会わない」(51.2%)であることなどから、県では結婚を希望する方への出会いの支援を行っているところです
22	安心	4	主な取り組み①	「九州・山口各県」⇒「九州各県や山口県」としてはどうか 「九州・山口各県」は少し違和感がある	記載内容を修正します
23	安心	4	主な取り組み③	「地域中核病院等における小児科医の確保」「休日・夜間における重症度に応じた小児救急医療提供体制の確保・充実」について、現在、居住地域では時間外診療ができる医師が不在せめて市単位で小児科医の診療が受けられないと、安心して子育てができない	【安心】2(3)「安心で質の高い医療サービスの充実」主な取組②の2ポツ目「研修資金貸与や診療技術修得のための研修支援制度の活用による産婦人科医・小児科医確保対策の推進」を追加し、医師確保に取り組んでいきます
24	安心	4	目標指標	目標値を見直すべき	目標を達成したため他の指標に見直します

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
児童虐待の未然防止・早期対応等切れ目ない支援					
25	安心	5	現状と課題	「虐待相談対応件数は増加の一途をたどっており」 ⇒「近年は児童虐待の重大性の認識や身近な虐待への気づきが高まり、子どもの福祉につながる通報が県民によってなされるようになったことも影響しているが、虐待相談対応件数は増加の一途をたどっている」としてはどうか	「児童虐待への社会意識の高まりや警察等関係機関の連携の強化もあり、県内の児童相談所に寄せられる児童虐待相談対応件数は、増加の一途をたどっています」に修正します
26	安心	5	現状と課題	「県内の児童相談所に寄せられる児童虐待相談対応件数は、増加の一途をたどっており、社会的な支援を必要とする子供や家庭も増加傾向にあります。」 ⇒「児童虐待への社会意識の高まりや警察等関係機関の連携の強化もあり、県内の児童相談所に寄せられる児童虐待相談対応件数は、増加の一途をたどっています。」 ・社会的な支援を必要とする子供や家庭の増加により、児童虐待の早期発見、早期対応のための体制の整備が求められています。」に変更	一つ目は委員意見のとおり修正します 二つ目は意見を踏まえ「社会的な支援を必要とする子どもや家庭の増加により、児童虐待の早期発見・早期対応のための体制の強化が求められています」に修正します
27	安心	5	これからの基本方向	「家庭養育優先原則」⇒「家庭での養育を優先する原則」又は「家庭養育を優先する原則」としてはどうか 「児童養護施設等においては、」の「は」は必要か？	記載内容を修正します
28	安心	6	主な取り組み②	児童虐待に関しては、体制づくり以上に、職員の専門性が問われるが、転勤の多い行政職の研修という専門性で良いか。社会福祉士を常時設置する必要がある	児童相談所での通算勤務経験の長い職員や社会福祉士資格を有する職員、専門職の児童心理司等を中心に、新任職員への研修やOJTを通じて児童相談所全体の専門性の維持・向上に努めています
29	安心	6	目標指標	里親委託率を上げるというのは方向性として良いか？	「里親等委託率」を「家庭に代わる養育を必要とする子どものうち里親・ファミリーホームで養育する子どもの割合」とし、家庭的な環境で養育されることが重要なことを理解されやすいように修正します
子どもの貧困対策やひとり親家庭・障がい児へのきめ細かな支援					
30	安心	7	施策名 主な取り組み	「障がい児」という表記を「障がいや特別な(支援)ニーズのある子ども」としてはどうか	「障がい児」という表記を「障がいや特別な(支援)ニーズのある子ども」とした場合、例えば貧困や虐待等子どもの特性に基づかないことまで含まれるとの印象を与えかねないこと、また、法制度上、グレーゾーンの子ども(手帳を所持しない子ども)も「障がい児支援」の対象とされていることから、ご意見にありました表記方法につきましては、原案どおり「障がい児」としたいと考えます
31	安心	8 40	主な取り組み	出産だけに頼らず、住みやすい、生きやすい大分県であることで外から人を呼ぶ、呼び戻す人口減少の食い止めを図るため、同性パートナーシップ制度やひとり親家庭支援制度での先進自治体となって欲しい	セクシャル・マイノリティの理解促進のための啓発に取り組みます また、ひとり親家庭支援制度の充実を図ります
32	安心	8	主な取り組み①	子どもの貧困のプラットホームは学校としているが、現実に遅いと考える 保育園の時点で発見できるはず	2ポツ目に「保育所等での保育コーディネーターと連携した子どもの貧困の早期発見」を追加します
33	安心	8	主な取り組み①	子どもの貧困対策について、子ども食堂の問題点 ①アメリカのプラントフード問題(予算、一部のメーカーに利益) ②食中毒の問題で生鮮食品の供給が困難(加工食品、ジャンクフードが多くなる)	子ども食堂によっては、地域の農家から直接生鮮食品を提供してもらったり、寄附金を集め生鮮食品を購入する等、自助努力により運営しており、できるだけ栄養バランスのとれた食事の提供に努めています
34	安心	8	主な取り組み①	「経済的に困窮している人への自立支援や、社会的な孤立に陥らないよう相談支援の充実」とあるが、相談と支援なのか、陥らないような支援を充実するのか、わかりづらい	「生活に困窮する人が、社会的な孤立に陥らないための相談支援の充実」に修正します
35	安心	8	主な取り組み②	「②ひとり親家庭への支援」において、「児童扶養手当の支給やひとり親家庭等医療費助成による経済的支援」とあるが、戸籍上は夫婦ではあるものの、既に別居しており、配偶者からの経済的支援が全く受けられず、事実上ひとり親家庭である場合と同様の場合にも、ひとり親家庭と同様の支援が受けられるような特別措置の検討をしてほしい	事例のようなケースについて、ひとり親家庭等同様の経済的支援を行うことは困難ですが、生活福祉資金貸付など他の制度をご紹介するといった対応は可能です

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～					
みんなで進める健康づくり運動の推進					
36	安心	12	主な取り組み ②	健康経営認定事業所について、以下を追記 ①企業における従業員やその家族の心身の健康増進等を目的とする「健康経営認定事業所」拡大のため、組合や団体等の登録部門を新設 また、企業の個別表彰のみならず、積極的な取り組みを推進する団体等に対する表彰制度も新設 ②「健康経営認定事業所」をより見える化するため、積極的な取り組みを推進する企業の事例集作成やメディアへの露出を高めるとともに、認定事業所の求人票等に明記できるなどといった優遇制度の新設	①健康経営事業所拡大を支援する団体の取組は様々であり、登録や表彰基準の設定が困難ですが、「健康寿命日本一おおい創造会議」で取組報告をすることが一つの評価と位置づけています ②3ポツ目を「健康経営事業所の拡大に向けた普及啓発と支援体制の強化」に修正します。なお、現在普及啓発として事例集の作成に取り組むとともに、健康経営認定事業所へのインセンティブとして、ハローワークの求人票への明記、県の融資の優遇制度を行っており、引き続き取り組んでいきます
37	安心	12	主な取り組み ⑤	「相談支援体制の充実」⇒「支援体制の充実」としてはどうか（「相談」が一文に3回も出てくるため） 「自殺を考えている人等」の「等」はどういった方々を指しているのか	「電話相談や対面型相談など相談支援体制の充実」について、前2つの「相談」を削除し、「電話や対面型など相談支援体制の充実」に修正します なお、「等」は未遂者や家族を指しています
高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築					
38	安心	13	主な取り組み ①	高齢者の活躍は、ボランティアや地域への貢献も大事だが、生産の中に組み込むのも今後は重要 そのためには、働きやすい環境作りや業務アシストのツール開発も必用	高齢者の多様なニーズに応じた職場環境整備を推進していきます （【活力】6(1)主な取り組み③参照）
39	安心	14	主な取り組み ①	高齢者の活躍機会拡大のため、就業に伴う各種資格取得要件の緩和（年齢制限の撤廃など）	各種資格取得での年齢制限については確認できませんでしたが、生涯現役社会実現に向けた高齢者の多様なニーズに応じた職場環境整備や職業能力開発を通じた就業支援を進めていきます
40	安心	14	主な取り組み ②	今後ますます増加が見込まれる旧郡部等の過疎地域での1人住まいの高齢者の方々の対策はどう考えるべきか 地域包括ケアシステムと言っても、どこまでカバーされるのか 今後、地域で取り残された高齢者への対応は大きな課題	市町村や社会福祉協議会との協働により、県民や福祉関係団体、民間企業等の福祉活動の推進や地域での連携を図ることにより、対応していきます（【安心】7(1)「人と人のつながりを実感できる地域共生社会の実現」これからの基本方向1ポツ目参照）
41	安心	14	主な取り組み ②	②の6ポツ目の後に、「③介護人材の確保」を追加。 併せて「③認知症施策の推進」⇒「④認知症施策の推進」に変更	記載内容を修正します
42	安心	14	主な取り組み ③	「福祉人材センター」の後に、「介護人材養成校」を追加	記載内容を修正します
43	安心	14	主な取り組み ③	「外国人介護人材の受入れについて、職場定着に関する研修などの取組の推進」 ⇒「外国人介護人材の養成や職場定着に向けた研修や相談支援などの取組の推進」に変更	「外国人介護人材の養成と円滑な受入れ、職場定着に向けた研修などの取組の推進」に修正します
44	安心	14	目標指標	目標値を見直すべき	「65歳以上ボランティア活動参加者数」の平成30年度実績を踏まえ、目標値を上方修正します
安心で質の高い医療サービスの充実					
45	安心	16	主な取り組み ①	地域医療について、人生の最終段階になってからの医療については、高齢者になってから、人生の最終局面が近づいてからしか考えられていないのではないのか 若い世代から、学校や職場、医療の現場で、こういう時代がくるという教養が必要なのではないのか	「人生の最終段階において本人が希望する医療・ケアの提供体制整備と人生会議の普及・啓発」を追加します また、高齢者だけでなく、県民全体に向けた普及・啓発を図ります
46	安心	16	主な取り組み ③	救急搬送に関して、距離的に遠い救急病院に移送される事例を伺った 市行政の問題かもしれないが、県による調整や柔軟な対応に向けた指導はできないか	救急搬送については、傷病者の疾病や外傷等の状況、かかりつけ医の有無等も考慮して総合的に判断して実施されており、適切な医療機関を選択した結果、場合によっては遠方の病院に搬送される場合があります 広域的な搬送となるケースも含め、救急隊員は「救える命は救いたい」という強い使命感で適時適切な搬送となるよう取り組んでいます

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
障がい者が安心して暮らせる社会づくりと障がい者雇用率日本一の実現					
障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進					
47	安心	17	現状と課題	「障がい者の歯科医療を専門に行う大分県口腔保健センター等を核とした」 ⇒「障がい者の高次歯科医療機関の整備は進んできましたが、今後は、障がい者がそれぞれの地域で受診できるよう」に変更	記載内容を修正します
48	安心	17	現状と課題	「障がい者が豊かな生活を送るためには、身近な地域で気軽にスポーツを楽しめる環境づくりが求められています。併せて～」 ⇒「障がい者が豊かな生活を送り、県民の障がいへの理解を深めるためには、身近な地域で障害のある人もない人も気軽に障がい者スポーツや芸術文化を楽しめる環境づくりが求められています。特に～」に変更	「障がい者が豊かな生活を送り、県民の障がいへの理解を深めるためには、身近な地域で障がいのある人もない人も気軽に芸術文化や障がい者スポーツを楽しめる環境づくりが求められています」に修正します
49	安心	17	これからの基本方向	「大分県口腔保健センター等」を削除	記載内容を修正します
恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～					
豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造					
50	安心	21 22	現状と課題 これからの基本方向 主な取り組み②	現状と課題、これからの基本方向に再生可能エネルギーに関する記載があるが、メガソーラー整備に伴う災害リスクに関する問題意識などの記載がない そのような中で取組を進めると簡単に言ってしまうと良いか	現状と課題の2ポツ目を以下のように修正します 「…大規模な開発に伴う環境や景観への影響及び防災上の問題が懸念されています。」 これからの基本方向の4ポツ目を以下のように修正します 「再生可能エネルギーの導入にあたっては、自然環境や景観、防災等に配慮した事業となるよう指導を行います。」 主な取り組み②の5ポツ目を以下のように修正します 「自然環境や景観等へ配慮した社会資本整備の推進」
51	安心	22	主な取り組み①	「特定外来生物対策の充実強化」⇒「特定外来生物の調査・対策の充実」としてはどうか	記載内容を以下のように修正します 「特定外来生物の調査・対策の充実強化」
52	安心	22	主な取り組み③	温泉資源の保護は別府経済の根幹、大分県民の財産 枯渇リスクの問題は、温泉熱として活用し、そのまま温泉水を川に流す等の事例急増が原因とも聞く 温泉資源量調査について、温度計測、違法な採掘がないか厳格な調査を実施していくことが喫緊の課題	温泉資源の保護に向け、温泉井の圧力や温度の計測などモニタリングを実施するとともに、現況調査や賦存量予測などの温泉資源量調査にしっかりと取り組みます
53	安心	22	主な取り組み④	県民だけでなく、他県や外国からの観光客への啓発も必要 例えば、案内アプリなどの利活用による外国人観光客の案内追加 (GPSと連動し、海や山などでごみを捨てないよう促す機能を付与したアプリなど)	地域資源の保護と保全を図りながら、戦略的な情報発信により誘客を推進していきます
循環を基調とする地域社会の構築					
54	安心	23	現状と課題	「本県においても海ゴミの多くがプラスチック類で占められています」 ⇒「本県においても海ゴミの多くはプラスチック類です」としてはどうか	記載内容を修正します
55	安心	24	主な取り組み②	「海ごみの効果的な発生抑制対策や上流から下流」 ⇒「海ごみの効果的な発生抑制対策や河川の上流から下流」としてはどうか	記載内容を修正します
地球温暖化対策の推進					
56	安心	26	主な取り組み②	「副生水素等」⇒「副生水素の利用等」としてはどうか	記載内容を修正します

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
安全・安心を実感できる暮らしの確立					
人に優しい安全で安心な交通社会の実現					
57	安心	31	現状と課題	あおり運転に関して言及した方が、主な取り組み②との整合性がとれるのではないかと	記載内容を修正します
58	安心	31	これからの基本方向	「人にやさしい安全で安心な交通社会の実現」において、自動車における自動運転システム等の活用について追記 「本県に立地するダイハツ九州をはじめとする自動車関連産業との連携による自動運転システムの早期普及(の検討)」	今年度、自動運転技術や人工知能などの先端技術の活用により、県全体における移動課題の解決を図るため「次世代モビリティサービスの在り方に関する検討会」を立ち上げたところです 今後、幅広く次世代モビリティサービスの在り方について検討を行う中で、自動運転システム等の技術や活用動向等も見極めながら取り組みます（【安心】7(1)の主な取り組み③参照）
消費者の安心の確保と動物愛護の推進					
59	安心	33	現状と課題 これからの基本方向	「動物愛護センター」⇒「おおい動物愛護センター」としてはどうか	記載内容を修正します
60	安心	34	目標指標	動物愛護についても目標指標を設けることを検討してはどうか	目標指標を検討します
食の安全・安心の確保					
61	安心	36	主な取り組み	食の安全・安心の確保で、HACCPの導入等は、中小企業にとっては認証の取得と維持が大きな負担になるので、監視の強化だけで無く、取り組みに対して支援を(ハードとソフトの両面で)GAP&HACCPを繋ぐ為に生産者→加工&流通業者→消費者の一貫体制の整備をそれぞれの部門で人手不足が深刻になっているので自動化の促進も	法改正により義務化されたHACCPの導入は、事業者にとっても有益なため、その円滑な導入に向け、手引書やセミナーの開催など、きめ細かな対応に取り組みます 農産物のGAP認証拡大に向けては、認証費用の助成や専門家による現地指導等の支援を行っており、引き続き、認証農場拡大に取り組むとともに、生産者が取り組みやすいよう管理書類の簡素化、電子化等を促進します また、加工においては、中小食品加工企業のHACCPプラン策定を支援するワークショップを、H28年度から食品産業企業会で実施しています 人手不足については、その解消に向け、IoT等の技術を活用した生産性の向上などに取り組みます
62	安心	36	目標指標	食中毒発件数について、実績値>目標値であるべきではないかと	これまでの実績や最近の傾向を勘案すると発件数を一桁に抑えていくことが重要と考えます
健全な食生活と地域の食をはぐくむ食育の推進					
63	安心	38	主な取り組み ①	朝食を食べるだけでなく中身も重要 「健康」や「食生活のバランス」をキーワードにして書き込む必要があるのでは 児童生徒数が目標指標になっているのであれば、それに関わる取り組みがあるべきではないかと(取り組みでは「青壮年期」と記載されている) 主な取り組み②③に関する目標指標があっても良いかもしれない	「食育」には健康や食生活のバランスという意味も含まれており、食育の大事な要素です 児童生徒数の割合を伸ばすためには、朝食を作る保護者への食育が大事だと考え、県民運動を推進していきます 子どもの時期からの食育が、その出発点であり、基本と考えるため、成果指標として設定をしています

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
多様な主体による地域社会の再構築					
人と人とのつながりを実感できる地域共生社会の実現					
64	安心	41	現状と課題	8050問題やダブルケアの問題については、介護保険制度、障害者支援制度、子ども・子育て支援制度などの単一制度だけでは解決困難な課題 複合的な支援制度の創出等について検討	複合的な課題への対応が必要と認識しており、市町村圏域で関係機関が協働して包括的に受け止める相談支援体制づくりを促進します（主な取組①の4ボツ目参照） また、早期支援に繋ぐため、ひきこもり地域支援センターの相談・支援体制を更に充実していきます（主な取組①の5ボツ目参照）
65	安心	41	これからの基本方向	「市町村や」 ⇒「大分県社会福祉協議会や市町村、」に変更	「市町村や」を「市町村や社会福祉協議会」に修正します
66	安心	41	施策名	「地域社会の実現」 ⇒「地域共生社会の実現」に変更	記載内容を修正します
67	安心	42	主な取組①	地域子ども会（消滅しかけていますが）や健全育成会に対する助成ランニングコストを保障してあげると地域と連携しようとするのでは	家庭、学校、地域全体で青少年を育む環境づくりを行うため、青少年団体の指導者の養成などに取り組みます（【発展】1（6）参照）
68	安心	42	主な取組②	地域福祉を支える人づくりに関し、民生委員や児童委員は目一杯しかも社協や包括支援センターは市町村合併後に集約したため、認知症やひきこもりの人をタイムリーに見えてなくなっている 数的にも業務的にも、民生委員や児童委員などの地域福祉を支える人を現実的に支える支援が必要	民生委員・児童委員の活動を支えるためのマニュアルの配布や研修の充実を図ります（1ボツ目参照） また、地域住民の支え合い活動を促進することにより、地域福祉を支える人を支援します（3ボツ目参照）
未来を担うNPO（NPO法人・ボランティア団体・地域コミュニティ団体等）の育成と協働の推進					
69	安心	43	現状と課題	「市町村や」 ⇒「大分県社会福祉協議会や市町村、」に変更	記載内容を以下のように修正します 「災害ボランティアセンターは、社会福祉協議会が中心となり、市町村や」
70	安心	43	これからの基本方向	「・休眠預金を活用した新しい制度について、必要な情報を提供するなど、団体が持続的に活動できる環境を整備します。」 ⇒「・休眠預金を活用した新しい制度などの資金調達や運営に関する必要な情報を提供し、NPOが持続的に活動できる環境を整備します。」に変更	記載内容を修正します
71	安心	44	主な取組①	「・休眠預金を活用した新しい制度について、制度の活用や団体の運営に必要な情報の提供」 ⇒「・NPOの多様な収入源の情報や休眠預金を活用した新しい制度など団体の活動に応じた資金調達の方法について必要な情報を提供・支援していきます。」に変更	記載内容を修正します
72	安心	44	主な取組①	「休眠預金を活用した新しい制度について、制度の活用」 ⇒「休眠預金を活用した新しい制度について、その活用」にしてはどうか	記載内容を修正します
73	安心	44	目標指標	目標値を見直すべき	実態や団体数の変動も勘案しながら、見直し後では目標値の上方修正を行います
ネットワーク・コミュニティの構築					
74	安心	45	現状と課題 他	プランの全体を通していえるが、公共交通に関して、JRは入らなくて良いのか？ タクシーやバスのことを書いていて、JRは当たり前みたいな感じだが、そういう考え方も見直す段階 MaaSも含めた上で、トータル的に考える段階に来ているのではないかと	「鉄道」について記載します（【安心】7（1）の現状と課題参照） MaaS等の新たなモビリティサービスの推進については、国の動きを注視しつつ、今後、関係者等と連携しながら活用について検討します

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
75	安心	45	主な取り組み ①	買い物に関して、運送会社との連携を図り、自宅もしくは近くの公民館などから注文し、各家庭まで宅配できるシステムを組んではどうか 高齢で端末を扱うことが難しいのであれば、曜日を決めて公民館などに集まってもらって端末を扱えるスタッフが代わりに注文して宅配、支払いは代金引換払いもできるのでは 県産品(日用品レベルから)をまとめて買えるオンラインショップをつくるのも良い	買い物が課題の地域では、商店等の移動販売車でカバーしています 実際に商品を手にとって買い物をしたいという地域住民の声もあることから、車両の購入補助などにより買い物支援の取組を支援していきたいと考えています なお、通信販売や生協の宅配サービスは、ほぼ全県下で利用可能です
76	安心	45	主な取り組み ①	地元不動産事業者等との連携(情報共有)による空き家の適正管理 (土地に難ありの場合も含め、活用不可の空き家については早期に解体するなど)	空き家の管理・活用にに向けた啓発動画を作成し、空家の適正管理と活用を啓発しています また、今年度から県内空家相談窓口を設置(NPO法人と連携)し、空家に関する様々な相談に対応しています
77	安心	45	主な取り組み ①	小規模集落対策では、集落営農は有効な手だが、高齢化により集落営農の維持が困難になっている 山間地は集落営農同士の合併等も難しい、元々水田を守る要素が強かったため、園芸への移行も困難 事務を集約化した組織を作り、それを利用して地域の活性化の手法を考えさせるか	担い手不在集落の営農等を総合的に支える地域農業経営サポート機構の取組を強化するとともに、日本型直接支払制度等の活用により、住民参加型の地域づくりに取り組みます(【活力】1(4)②参照)
78	安心	45	主な取り組み ①	小規模集落対策について、移動販売等は経費的に難しいため、既存のシステムを利用しながら助成を民間だけでは難しいが、どこまで行政が関与していくか	買い物が課題の地域では、商店等の移動販売車でカバーしています 実際に商品を手にとって買い物をしたいという地域住民の声もあることから、車両の購入補助などにより買い物支援の取組を支援していきたいと考えています なお、通信販売や生協の宅配サービスは、ほぼ全県下で利用可能です
79	安心	45	主な取り組み ①	小規模集落対策について、特に生活弱者への対応が必要 地域に住むことによる個人の生きがいや社会的な存在意義も重要 死ぬまで現役、ピンピンコロリを実現するための医療体制	地域の集会所などで食事会等を行い、高齢者が外出する機会の創出を図ります また、パン作りなど世代間交流や特産品開発などの生きがいづくりを行っている好事例(地域)の横展開を図ります 医療体制については、【安心】2「健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～」の各施策を推進します
80	安心	46	主な取り組み ②	本県に立地するダイハツ九州をはじめとする自動車関連産業との連携による自動運転システムの早期普及(の検討) 公共交通の維持が困難な地域にUber(ウーバー)のような配車サービスを検討	今年度、自動運転技術や人工知能などの先端技術の活用により、県全体における移動課題の解決を図るため「次世代モビリティサービスの在り方に関する検討会」を立ち上げたところです 交通事業者等とともに、課題解決に向け幅広く次世代モビリティサービスの在り方について検討を行うこととしています
81	安心	46	主な取り組み ②	地域での自動運転について、技術の成熟を待つ必要がある 山間部、過疎地域での自動運転には5Gが必須だが、目標年度までの県内カバー率はどうなる見込みか?	今後、幅広く次世代モビリティサービスの在り方について検討を行う中で、自動運転システム等の技術や活用動向等も見極めながら取り組みます 国の方針では、全国を10km四方のメッシュエリアに区切り、5年以内に全国で50%以上のエリアで5G高度特定基地局を整備する方針であることから、県内においても、同様と考えています
82	安心	46	主な取り組み ③	ネットワーク・コミュニティの構築は大変難しい課題 方向性に異論はないが、それを実行する場合の担い手、推進組織、財源などが具体的にないと前に進まない また、対象となる地域はどこまで含まれるのかも同様に難しい課題 具体論をベースに深掘りして欲しい	中間支援組織を通じた地域コミュニティ組織の自立的、持続的運営に向けた支援を行うとともに、市町村職員の資質向上(組織の立ち上げから運営についてのノウハウ共有)にも取り組みます
強靱な県土づくりと危機管理体制の充実					
県民の命と暮らしを守る県土の強靱化の推進					
83	安心	48	主な取り組み ③	「大分川及び大野川の堤防の活用による強靱化の推進」を追記	県全体の取り組みとして、「護岸堤防の嵩上げや補強対策の推進」と「道路啓開態勢の構築」を行います 河川や道路等の個別計画があるため、プラン2015では箇所毎の記載をしていません
大規模災害等への即応力の強化					

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
84	安心	50	主な取り組み ①	災害時には高速道路とのアクセスが重要 その記載がないのは手落ちではないか	高速道路や高速道路へのアクセス道路などは、道路啓開計画上の啓開ルートに含まれており、災害時に迅速な道路啓開が実施されるよう、道路啓開体制の構築、道路啓開等を担う建設業の人材確保などを推進します(【安心】9(1)③、(2)①参照)
85	安心	50	主な取り組み ①	南海トラフ地震等で被災した場合の代替ルートを補完するインフラ整備について追記 ①東九州新幹線の早期実現(P118には記載あり) ②東九州自動車道の早期4車線化	東九州自動車道の4車線化については、【発展】4(2)「現状と課題」の中で、暫定2車線区間の課題や南海トラフ巨大地震等の災害に備えた広域的な交通のリダンダンシーの確保の必要性等を記載し、その対応として主な取り組み①に記載しています 引き続き、東九州自動車道をはじめ、宇佐別府道路、大分空港道路の4車線化に向けた取り組みを推進します また、東九州新幹線については、今後、整備計画路線への格上げの議論が本格化することに備え、国への働きかけと県民の機運醸成に向けた取組を強化します。(【発展】4(2)参照)
86	安心	50	目標指標	目標値を見直すべき	市町村においては、防災担当課の職員が数名程度と少なく、災害対策本部会議を含めた訓練実施まで至っていない市町村もあります そこで、大規模災害発生時には、自衛隊や消防など関係機関との情報共有や連携が重要であることから、「関係機関と連携した災害対策本部設置・運営訓練等実施市町村数」を目標指標とします
災害に強い人づくり、地域づくりの推進					
87	安心	52	主な取り組み ①	災害の際の情報発信について、単なる発信に留まらず、安全な場所への誘導を含むべき 大分県は観光立県であり、インバウンドを含めた大分への訪問者に優しくなければならない 外国人向けの誘導方法についても、別途十分な配慮が必要	本年4月から「おおいた防災アプリ」(15言語に対応)の運用を開始したところで このアプリでは、防災気象情報をはじめ、道路の規制情報、津波や洪水による浸水想定区域等の情報を提供するほか、安全な場所への誘導が行えるよう、県内全域の避難所や避難場所の位置情報と、現在地からの道順案内を行なう機能を備えており、引き続き効果的な情報発信に取り組みます
88	安心	52	主な取り組み	県民のことは当然だが、観光客も含めた大分に今居る人への避難や交通規制等の情報伝達を強化することも重要	
感染症・伝染病対策の確立					
89	安心	54	主な取り組み	県の事業ではないかもしれないが、空港や港で、感染症の流入を止めることが必要なので、そのことを主な取り組みとして書けないか	検疫所が実施している空港等での患者発生を想定した訓練に毎年参加していること等を踏まえ、記載内容を修正します(主な取組①3ポツ目参照)
移住・定住の促進					
移住・定住のための環境整備とUJタウンの促進					
90	安心	55	現状と課題	20~24歳男女の転出は、福岡の次が国外となっているが、福岡県への外国人学生の転出数は把握しているか データの信頼性を高めてから施策を考えた方がよい	外国人学生の県内就職状況は毎年把握していますが、転出先エリアごとの人数等は把握していないため、各大学の把握状況を確認のうえ、協力について相談しながら調査実施を検討します
91	安心	55	主な取り組み ①	20歳~24歳の転出超の施策を見ると、転出者目線ではなく、大分県目線での施策に見える 何故彼らは大分を出て帰ってこないのか？ どういうことがあれば帰ってくるのか？ そのあたりの分析を踏まえなければ何も施策は出てこない まずは実態調査を行なってから施策を考えたい 就職、住まい、給与、価値観などの意識調査を優先すべき	転出者目線での転出理由の分析は重要であるため、まずは、特に若い女性の転出先となっている福岡を中心に、県出身者向けの意識調査を実施します

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
92	安心	55	主な取り組み①	大分へ人を戻すためには、都会中心や経済中心の価値観からの転換を促す必要がある(住みやすさ、優しさ、ゆとり) しかし一定以上の所得も必要 特定技能制度も外国から見れば所得の多い都会に流れる可能性が大きいので、地域の良さを都会のみでなく、諸外国で積極的にアピールする機関の創設を	大分の賃金状況とあわせ、家賃、通勤時間の短さなどの住みやすさ、恵まれた生活環境や豊かな食の魅力などをHP等のツールを活用して積極的に発信していきます また、外国人材受入れ・共生のための対応策協議会や外国人総合相談センターを設置し、情報共有や必要な対応を行っており、これらの取組を通じ、外国人に本県への良い印象や経験を母国の人と共有してもらうことで、本県のPRを図っていきます (【活力】4(1)の主な取組②参照)
93	安心	56	主な取り組み①	移住者の空き家購入にあたり、相続がされておらず、購入が難航するケースが多くみられる賃貸物件として不動産会社に管理してもらっていない家もかなりあり、このような空き家の調査とデータベース化も必要 移住者への支援と同時に空き家の持ち主が売れるように問題を解決する支援が必要	空き家の相続等購入に際しての課題解決に備え、今年度空き家相談窓口を設置(NPO法人と連携)して対応を行っているところです また、移住者支援と空き家の流動化促進の両面から移住者への仲介手数料支援を実施しています
94	安心	56	主な取り組み①	都市圏からUIJターンするプロフェッショナル人材を直接支援する助成制度の創設(の検討)	今年度、国の交付金を活用し首都圏からの移住者向けの直接支援制度(移住支援金)を創設。プロフェッショナル人材への活用が広がるよう、支援制度のPRに努めます(主な取り組み④参照)
95	安心	56	主な取り組み②③	空き家活用等の住宅支援のみならず、就労や起業、教育、子育てなど市民生活の総合的な支援も含めた移住・定住施策の推進 (「空き家バンク」等の移住・定住施策を講じる豊後高田市が一つの参考事例)	東京のふるさと回帰センターに配置した移住コンシェルジュ、本庁、東京・大阪・福岡の県外事務所に配置した移住サポーターが空き家情報ほか仕事や教育、子育て等について総合相談を受けるほか、毎月おいた暮らし塾を開催し対応しています。 市民生活の総合的な支援を含めた移住・定住支援施策を推進し、今後とも市町村や関係機関と連携のうえ細やかな対応等による総合的な支援に努めます
96	安心	56	主な取り組み	大分に戻ってきてキャンペーンも必要だが、大分に就業機会がない限りは難しいので、主な取り組み②が最重要 移住しやすさは住居などハード面だけではなく、転校のしやすさ等のルール面での検討も不可欠 規制の見直しを進めることも盛り込んでほしい お試し居住は非常に有効な施策であり、民間では体験型移住システムを提供している企業もあるため、そういった企業とのタイアップや活用が有効ではないか	転校のルール面や規則の一律の見直しには時間も要すことから、移住相談窓口等での相談を通じ個別の事案について関係機関へ取り次ぐなど細やかな対応を心がけます お試し居住については、空き家を活用した移住体験施設を設けるなど市町村が中心となって推進しているところ。民間企業から提供される有用なシステムの活用も視野に入れ積極的に対応していきます(主な取り組み③参照)
挑戦と努力が報われる農林水産業の実現					
構造改革の更なる加速					
97	活力	57	これからの基本方向	「米から高収益な園芸品目等への転換」も大事だが、農家の多くは未だ稲作で生活しているため、その人達に向けての言葉が必要 高付加価値高品質の稲作も重要な事ではないか	高付加価値・高品質の稲作も重要であり、稲作主体の農業者の大規模化による生産性向上や特A取得などの高付加価値化を支援します (【活力】1(3)①参照)
98	活力	57	主な取り組み①	「リース団地等による初期投資や転換リスクの軽減」とあるが、消費税が10%になる事を見据え、すでにリース団地から自己所有の形に変更されつつある(借入金利の方が安い) 再考も必要か	リース事業については、借入金等による自己所有が困難な新規就農者等を対象に、初期投資やリスク軽減を図る仕組みとしてこれまで多くの担い手確保のため活用されてきました。生産者の選択肢の一つとして、さらに取り組みやすくなるよう新たな仕組み等を検討します
99	活力	58	主な取り組み③	「主伐と再造林を一体的に担う中核林業経営体の育成」 ⇒「主伐と再造林を一体的に担う森林組合の強化育成と中核林業経営体の育成」に変更	「中核林業経営体」とは、「再造林の実行体制を有し、高い素材生産力を有する地域の中核となる林業経営体」と定義しているところであり、「中核林業経営体」に森林組合も含まれることから、「森林組合の強化育成」と並列表記せず、原文のまま整理したいと考えています
100	活力	58	主な取り組み③	「森林環境譲与税の有効活用による地域林業の活性化」 ⇒「森林環境譲与税の有効活用と森林経営管理制度を積極的に推進することによる地域林業の活性化と森林の有する公益的機能の保全」に変更	【活力】1(1)③は構造改革に関する項目であるため、【活力】1(4)①の8ボツ目を「森林経営管理制度や森林環境譲与税の活用による森林管理体制の強化と森林の有する公益的機能の保全」と修正します

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
101	活力	58	主な取り組み ⑤	「・GPS搭載の自動操縦機械等による生産管理作業の効率化」 ⇒「・GPS搭載の自動操縦機械やAI等の導入による生産加工管理作業の効率化」に変更	AI等の導入については、水稻の病害虫の検知技術の実証等に取り組んでいますが、加工分野については、今後の技術開発状況を注視しながら進める必要があるため、「GPS搭載の自動操縦機械やAI等の導入による生産の効率化」と修正します
マーケットインの商品づくりの加速					
102	活力	60	主な取り組み ③	「・職人(大工等)不足と環境保全に対応した低コスト・省エネ住宅の促進」の追加	大工等の職人については、高等技術専門学校にて建築科を設置するなど実践的な技術者の養成に取り組んでおり、また、労務の省力化や低コスト技術については、各企業により開発が行われ、普及が進んでいます 省エネ住宅の促進については、大分県住生活基本計画(平成28～令和7年度)に基づき、住まいの省エネ化の普及促進に努めています
産地を牽引する担い手の確保・育成					
103	活力	61	これからの基本方向	中長期に亘る労力が必要なため、家族での受入の検討など、労働力を事業者が受け入れやすい環境づくりが必要	高齢者や女性、障がい者、外国人など誰もが働きやすい環境づくりを進めるとともに、子育て世代の移住就農の促進に向けた支援の拡充を検討します
104	活力	62	主な取り組み ①	「経営承継の円滑な実施」において、早めの情報の発信や技術の承継に努めること	経営相談所が行う伴走型支援により、承継に対する認識不足を解消するとともに、課題解決に向けた専門家派遣等により事業承継を推進します
105	活力	62	主な取り組み ①	農林水産業の担い手不足について、学校教育の場で農業体験や漁業体験をすること まずは学校教育、少年の船同様、数日間の農林水産業体験から学び、将来の担い手になってもらうような取り組みがあると良い	小学生等を対象として、あすなろ平成塾(農業)、もりりん教室・みどりの少年団(林業)、体験漁業教室(水産業)等に取り組んでおり、今後も体験学習の充実等により将来の担い手となってもらえるよう取組を進めます また、「くじゅうアグリ創生塾」の研修により、高校生に対する農業教育の充実、小・中学校児童生徒に対する農業体験の機会の提供をしていきます
元気で豊かな農山漁村づくり					
106	活力	64	主な取り組み ①	「伝統野菜など『地域の宝』』との記載があるが、郷土料理のことにも触れた方が良い だんご汁はもちろん、オランダやタラオサも各地域で引き継いでいくべきレシピだと思う	郷土料理の継承等については、【安心】5(5)「健全な食生活と地域の食をはぐくむ食育の推進」に記載しています
活力と変革を創出する産業の振興					
チャレンジする中小企業と創業の支援					
107	活力	66	主な取り組み ②	福岡市は、今や、スタートアップ企業のメッカ 福岡市の取り組みのベースとなっている「グローバル創業都市・福岡」のビジョンを研究して、大分ではどう いう視点から取り組めばよいかを検討してはどうか	福岡県での取り組みを参考にしつつ、大分県では県内起業家の関東での活動を支援するため、東京のコワーキング施設の無償利用制度や大分にゆかりのある先輩起業家等とのネットワーク形成を目的とした交流イベントの開催、留学生や女性に特化した創業支援など、独自の施策を展開しています また、スタートアップ・クリエイティブマンスと題し創業関連のイベントを集中的に実施し、創業の機運醸成や情報発信にも取り組んでいます 今後も大分に居ながら創業・成長できる環境整備に取り組めます

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
商業の活性化とサービス産業の革新					
108	活 力	68	主な取り組み ①②	書かれている内容が抽象的すぎて、具体的に何をやるのか見えてこない	具体的な取組内容を追記するなど、記載内容を修正します
109	活 力	68	主な取り組み ②	オシャレで質の高い県産品がたくさんできて嬉しい一方、地元の人がデイリーに使うにはちょっと違う値段が高すぎ、なかなか購入に至りらず、結果的に、地元の人が知らない大分のお土産があることは残念 地元の人が使ってるからこそその強みもある	県公式通販サイトなどにより県産品の魅力を発信していきます
110	活 力	68	主な取り組み ②	「坐来大分」の利用者は接待族か大分県出身者などの関係者に限られており、高級過ぎるもう少し廉価なB級グルメの食材に関して情報を発信していく必要があるのではないか 例えば、仕事帰りに新橋・有楽町・新宿あたりで3千円程度の予算で、リュウキュウ・鳥天・唐揚げ・日田焼きそばなどをつまみに一杯飲むというようなコンセプトのお店が「坐来大分」とは別に必須ではないかと思う	「坐来大分」は、首都圏でおおいたのブランド化を確立するため、大分の誇れる農林水産物及び加工品をスタッフが語り部となって丁寧に伝えることにより、大分県の情報を積極的に発信しています この「坐来大分」のホームページでは、とり天やりゅうきゅうなどの大分県の郷土料理をもう少し安価で首都圏で味わえる「おんせん県おおいた応援店」を紹介しており、引き続き、「坐来大分」を拠点とした大分県の情報発信に努めていきます
先端技術への挑戦～大分県版第4次産業革命“OITA4.0”の推進～					
111	活 力	70	主な取り組み ②	生産をAIに促進しすぎると働く場所がなくなり、人口減少により需要が減り、供給の必要もなくなり、他の生産性が後退する可能性もあるので、働く場の創出に努めることも必要	大分県版第4次産業革命“OITA4.0”では、AI等の先端技術の活用により、地域が抱える課題の解決を目指すとともに、新産業の創出にも寄与することで、県内において雇用(働く場所)も増やしていきます
112	活 力	70	主な取り組み ②	農業生産額を維持発展するには生産性の向上や高付加価値化が必須 特に生産技術で先端技術の活用は最重要課題だが、各種の規制や政策が壁になっている ドローンでは航空法・農業取締法、新技術活用のハウスもコストやリスクを考えると一概に取り入れられない 地形上、大規模の水田や園芸は困難だが、高度な技術を使った園芸や畜産等を中心とし、従来の観点では条件不利地であった地域も先端技術を使って高付加価値農業が可能 技術を使いこなす人材の育成、使いやすいシステム開発も必要 導入した技術の陳腐化を防ぐため、フォローアップも大事 予算も単発や期間限定でなく、長期的な視点に立ったものが必要	スマート技術のさらなる活用とフォローアップ体制構築に向けて、【活力】1(1)⑤に以下のとおり追加します 1ポツ目「スマート技術導入指針の策定と技術の活用に向けた人材育成、普及指導員の資質向上」 7ポツ目「スマート技術の導入効果を高めるPDCAサイクルの徹底」
未来に向けた戦略的・効果的な企業立地の推進					
113	活 力	71	現状と課題	RORO船航路は、災害に強く、ドライバーの働き方改革にも繋がる大変有効な輸送ルートとなっている 昨夏の中国地方の豪雨災害等で高速道路等の通行ができなくなった際、代替ルートとして活用できた	現在、ドライバー不足によるRORO船航路等へのモーダルシフトが進展している中で、昨夏の豪雨災害では、一部、災害時における物流のリダンダンシーの観点から、海路にシフトした事例もあります このような現状を踏まえ、【発展】4(1)においても、モーダルシフトの進展や大分港大在地区の物の流れの拠点化の必要性等について記載しています
114	活 力	72 116	主な取り組み ①	海上貨物輸送の機能強化、物流の機能強化はすぐにもやるべき課題だが、大分港は門司港に比べて大変使いにくいと聞く 大分港の海外からの利用価値を高めるため、大分でビジネスを展開している外国正規の企業家に中国や東南アジア、イスラム圏等の企業誘致の協力を依頼してはどうか	海上貨物輸送の機能強化については、「九州の東の玄関口としての拠点化戦略」のなかで、大分港大在地区を物の流れの拠点として港湾機能強化や物流拠点整備、また貨物の集荷を進めています 北九州港と比べ大分港は外貨定期コンテナ航路数が少なく、ハブ港での積替えも必要となり輸送時間がかかる場合も多いところです 大分港の外貨定期コンテナ航路・便数を増やし利用価値を高めるためには、大分港の貨物量を増やすことが必要であるため、今後もより積極的なポートセールスの継続やJETROとの情報共有による外資系企業の誘致にも取り組みます

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
115	活力	72	主な取り組み①	「・離島や中山間地域等の条件不利地域を含めた県内全域にIT企業のサテライトオフィス等を誘致」について、是非、国東市の空港近くの場所を優先的に考えていただきたい 東京・大阪・名古屋へのアクセスが近いことが重要	大分空港周辺では国東市、姫島村にサテライトオフィスを整備した結果、企業進出にも繋がっています 国東では大分空港が近いという強みがあるように、今後も各地域の特色を活かした企業誘致を行っていきます
地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興					
国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速					
116	活力	75	これからの基本方向	インバウンドは、国際情勢によって激変する状況にあるので、できる限り政治に左右されない仕組みづくりを考えることはできないか	東アジア地域に加え、欧米・大洋州を新たなターゲットとするなど、特定国に依存しないような誘客を図ります
117	活力	76	主な取り組み②	「キャッシュレス化の推進」を追記(P68)には記載あり	受入態勢の整備として、【活力】3(2)②に追加します
118	活力	76	主な取り組み③	富裕層向けのメディカルツーリズムの検討 別府を中心に、医療・温泉・食をキーコンセプトにメディカルツーリズムの検討を是非行なっていただきたい	メディカルツーリズムのコンテンツの収集とニーズ分析により今後の事業展開に向け検討を行います
119	活力	76	主な取り組み④	海外向けの周知、宣伝として、「温泉アイランド九州広域観光周遊ルート」の魅力について、PRの徹底が必要	引き続き九州各県と連携してPRを行っていきます (【活力】3(1)④参照)
120	活力	76	主な取り組み④	二次交通について、欧米の観光客の誘致を考えると、過疎地では移動手段の充実が図られていないため、以下のような取り組みはどうか 地元住民と一緒に使用できる交通手段や、インバウンド客優遇のタクシーなどの具体策をエリアを決めて試行 隣県との共同開発で、モデルルートを作成し満足度をアップさせる、ルートの中で関わる人をピックアップして動画を作成しこの場所に行けばこの人が待っているというような気持ちが伝わる動画作成	【活力】3(2)②において「観光客の円滑な周遊促進のための路線バス、タクシー、レンタカー等の利便性向上」に取り組むこととしています いただいた意見を参考にし、今後の事業展開に活かしていきます
121	活力	76	主な取り組み⑤	観光案内所の機能の充実に関する記載がない 機能充実のため、インバウンドも見越して、JNTOの認定外国人観光案内所も含めて人材の育成が急務	主な取り組み⑤「ツーリズムおおいのDMO機能の強化と地域観光協会等の活性化」の欄に文言を追加します
おんせん県おおいの地域磨きと観光産業の経営力強化					
122	活力	78	主な取り組み②	「国民文化祭等」、「ラグビーワールドカップ2019等」の「等」はなくてよいのではないか	この取組だけでなく、日本博やジオパーク、東京オリンピック・パラリンピックの取組も含んでいます
123	活力	78	主な取り組み③	高度観光人材の育成支援について、先進的な学生の人材育成を進めている大学等の連携を望む 県内大学も何かしら関わりを持っているものの、次につながらなかつたり、形だけの連携になっており、教授陣をはじめとする大学側の研修が必要ではないか	APUが国連世界観光機関(UNWTO)の観光教育認証を受けるなど、本県の観光人材に目が向けられています 連携を強化し、本県を担う観光人材に繋がるよう取組を検討していきます
124	活力	78	主な取り組み③	観光関係者のスキルアップについて、現場の人はなかなか時間と経済的なゆとりがない場合が多い 県をあげて研修するシステムを考えてはどうか(若手や女性の研修を希望)	観光関係者のスキルアップが観光客の満足度の向上、さらには滞在時間の長期化に繋がると考えるため、研修できるシステムを構築していきます
125	活力	78	主な取り組み④	大分県の各市町村には驚くほど整備されたグラウンドや体育施設があり、他県から見ても非常に魅力的 温泉での湯治も含め、非常に人気の高い合宿エリアとなっており、各施設の紹介や利用に関わる情報を提供できるとよい	スポーツ施設や宿泊施設、観光情報等を一体的に情報発信し、スポーツツーリズムの推進に取り組めます (【発展】3(3)の主な取り組み②参照)

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
海外戦略の推進					
海外に開かれたネットワークづくりと輸出促進・多文化共生社会の構築					
126	活力	80	主な取り組み ②	APU卒業生を県内就職に繋げる仕組みづくりについて追記	留学生ビジネスセンター等を通じ、合同企業説明会や企業と留学生の交流会、企業見学ツアーを開催し、留学生の県内就職の促進を図っています また、採用事例を掲載した留学生就職ガイドブックを作成し、セミナー等で企業、留学生に配布・周知を行っています
127	活力	80	主な取り組み ②	残念ながら大分の企業では留学生に就職機会を提供できておらず、大分を去る留学生が多い 例えば、ソフトパークのような公共施設でブロードバンド環境を整備し5年間無料で使ってもらい、大分での起業を支援、起業後は一定期間大分で仕事をするを条件にするなど、留学生への起業環境の提供を考えてはどうか	留学生ビジネスセンターを設置し、留学生等への低額での個室やブースの貸し出し、インキュベーションマネージャーや行政書士等による相談体制の整備、起業講座の開催等を通じ、起業しやすい環境の提供を行っています
128	活力	80	主な取り組み ④	将来を担う若手経営者への海外研修制度について(検討できないか)	経済団体や金融機関により経済ミッション等の海外派遣事業が定期的に行われているため、実施主体に対し働きかけるとともに、海外企業等と連携した研修など、県内企業の次世代経営者が国外で新たな刺激を受けることができる機会を提供していきます
129	活力	80	指標	多文化共生社会に対する目標指標が必要なのではないか	多文化共生の取組は各分野にわたり、総合的な目標指標の設定は難しいため、各事業の取組の中で指標の設定を検討していきます
大分県ブランド力の向上					
戦略的広報の推進					
130	活力	81	現状と課題	戦略的広報における情報発信について、情報解析等を行って、戦略的で有効な発信を行う必要がある	早急に、最新の情報発信のトレンド分析と本県の情報発信の問題点について分析を行い、戦略的広報のあり方を検討することとしています(主な取り組み①④参照・一部修正)
131	活力	82	主な取り組み	広報戦略の要諦は、誰にどういうコンテンツを訴求するのが明確になっていないとぼけてしまう 誰にでも訴求するもの、何もかもを狙うと、却って何も効果を発揮できない 先ずは、誰に、何を訴求するのかの方針(戦略)が必要。全体的に施策が散漫ではないか	本県には温泉以外にも魅力的なコンテンツが豊富であることから、デジタルマーケティング手法の活用など、広報対象ごとの効果的な手法を分析し、戦略的な情報発信に努めていきます (主な取り組み④参照・一部修正)
132	活力	82	主な取り組み ①	ビジュアルコンテンツの一つとして、「おんせん県おおいた」のゆるキャラ制作を検討	本県では、おんせん県おおいたのロゴマークを広く統一的に活用しており、加えてマスコットキャラクター「めじろん」が県内外の様々な行事で本県のPRを行っています 一方、温泉のゆるキャラは既に別府市宣伝部長の「べっぴょん」がいることから、県としては、新たなゆるキャラは制作せず、それらのゆるキャラ等を効果的に活用し、本県の魅力を発信していきたいと考えています
133	活力	82	主な取り組み ①	「歴史や文化など」 ⇒「歴史や芸術文化など」または「歴史や文化・芸術など」に変更できないか	記載内容を「歴史や芸術文化など」に修正します
134	活力	82	主な取り組み ②	取り組みにOPAMやアルゲリッチ音楽祭のことも入れた方が良い 立派な世界ブランドだと思う	主な取り組み③の1ポツ目を「歴史や芸術文化など」に変更し、OPAMやアルゲリッチ音楽祭など芸術の魅力発信によるブランド力の向上を図っていきます

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
いきいきと、多様な働き方ができる環境づくり					
働き方改革の推進と産業人材の確保・育成					
135	活 力	84	主な取り組み	取り組みの方向性は良いが、具体的な施策に乏しい 特に留意すべきは、中小零細企業の立場に立った視点 具体的な施策を立案するには、若年層の県内就職を妨げている要因分析を若年層の立場から行なわないと机上の空論になりかねない。女性も然り、外国人も然り	施策の推進にあたっては、例えば、若年層であれば、大学生・社会人をメンバーとするマーケティングチームを設置し、若者の就職に対する意識の調査や、若者の生の声を聞く取組を進めています また、働きたい女性と企業のマッチング、企業における外国人労働者のニーズ調査などを通じ、実効性のある取組を個別事業の中で検討していきます
136	活 力	84	主な取り組み ①	次世代育成支援については、若者や外国人を受け入れる企業の上司教育が必須 古い価値観での育成では成り立たない	働き方改革を推進し、多様な人材を確保するため、企業のトップを対象とした「働き方改革トップセミナー」や、実際に、働き方改革を実践し、生産性向上や人材確保に繋がったモデル企業の取組の周知により、気運醸成を図っていきます
137	活 力	84	主な取り組み ①	働き方改革の基本は雇用者であり、ベンチャーや事業主はこの改革に入っていない 様に労働時間や有給休暇を制限するのは違和感がある 雇用形態により仕事の内容や責任は同じなのに賃金格差があるなどの労働環境を整えることが、先決	働き方改革の推進にあたっては、経営者と労働者双方の意識改革が重要と考えており、平成28年12月に設置した「大分県働き方改革推進会議」では、経済団体、企業経営者、連合代表などが議論し、長時間労働の是正や仕事と子育てや介護など働き方改革の機運醸成の推進を図っているところです 賃金格差解消についても、働き方改革の一つであるため、今後も労使一体となって取り組めます
138	活 力	84	主な取り組み ②	若年者の県内就職において、「おおいた共創士」の活用による県内就職の促進 ※県内大学等で組織する「おおいた創生」推進協議会が創設した就職優遇制度。「おおいた共創士」に認証された学生は、県内の企業・自治体から様々な情報提供や就職活動での優遇を受けられる。制度を活用する学生・企業の双方を推進することで、県内就職の促進に繋がる。	「おおいた共創士」を活用した県内就職促進のため、「おおいた創生」推進協議会(COC+)教育プログラム開発部会に参画し、「おおいた共創士」制度の広報に努めます
139	活 力	84	主な取り組み ②	就職を斡旋する先生方が最低でも一週間程度、企業研修する場の提供などあればよい	高校等進路指導担当者向け合同企業説明会(県内企業と高校等の情報交換会)の開催や、教員と企業人とが人材育成について議論する研修を実施し、高校及び特別支援学校の進路指導担当者等の県内企業理解を促進します
140	活 力	84 97	主な取り組み ②	今はベンチャーも増えているので、大学と新ビジネスの取り組みを考えたり、企業セミナーを開催する必要がある	大学等が保有する有望な研究シーズを発掘、事業化に向けた専門家による総合的な支援を今年度から実施しています 県内ベンチャー企業と連携した取組も支援対象としています
141	活 力	84	主な取り組み ②	産業人材・若年層の確保について、大学生に限れば、就職活動の際、どの地域で働くかは優先順位の高い要素ではない 学生は偏った企業情報しか持っていないため、いかに効果的な情報提供をするか	福岡在住の大学生・社会人をメンバーとするマーケティングチームを設置し、若年者の就職に対する意識等を調査するとともに、若年者への効果的なアプローチを把握し、県内企業情報を提供します 併せて、「おおいた学生登録制度」の対象拡大や、WEBマガジン「オオイタカテ！」の活用により、県内企業情報を発信していきます
142	活 力	84	主な取り組み ③	自動化や機械化を進めても、どうしても人手に頼らなければならない所がある きつい作業や創造性の無いルーティンワークは機械やAIに任せて、これらに女性や高齢者を活用出来るのではないか	企業の業務の切り出しや、働く場所や時間にとらわれない多様で柔軟な働き方ができる「テレワーク」により、女性や高齢者の活躍を推進していきます
143	活 力	84	主な取り組み ③	宿泊・飲食業は賃金の割に拘束時間が長いために良いイメージをもたれない 数件の店や施設で人材を共有するシステムを考えるなど、少ない人材をフル活用し、なおかつその人の収入をアップする方法など、独自に考えられないか	県内の働き方改革を推進し生産性の向上を図るため、業種ごとに専門家を派遣しており、宿泊業等でモデル事業を実施するとともに、その取組手法をHP等で広く共有しています 飲食業についても、業務効率化や付加価値の向上による生産性向上の取組を支援することで、人材不足の解消や収入アップにつなげていくこととしています

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
144	活力	84	主な取り組み④	外国人の活用も必須 大分県は日本で有数の留学生がいるし、その出身は、今後発展していく国 外国人を取り込んでいくには、彼らを日本に合わせるのではなく、新しい価値観を作っていくことが肝要 日々、外国人と接する機会の多い大分にとって優位性を作れるのではないか	外国人ならではの視点による創業を通じ、県内経済にプラスの効果をもたらされるように、留学生起業の支援を行っています おおいた留学生人材情報バンク「アクティブネット」や留学生のインターンシップの受入を通じ、県内企業に留学生の能力を活用した商品開発の機会の提供を推進していきます(【活力】4(1)主な取り組み②参照) また、大分県外国人材受入れ・共生のための対応策協議会において、市町村と連携し、外国人材にとって、働きやすい、生活しやすい環境の整備に取り組みます
女性が輝く社会づくりの推進					
女性の活躍推進と男女共同参画社会の構築					
145	活力	85	これからの基本方向	「配偶者や家族の理解向上を図り、家事・育児が女性だけの負担にならないよう、協働が当たり前になるよう、男女で社会を築く意識を持つように働きかけをします」を追加	記載内容を修正します 「社会のあらゆる場面において、固定的性別役割分担意識の解消…」などへ文言を修正
146	活力	85	主な取り組み	どうしても施策が抽象的なレベルに留まったり、意識面への働きかけに留まったものになりがち 意識は変わっても、中小零細企業では人的制約があり対応できないと思われるので、そのような中小零細企業への具体的な支援も併せて用意しないと前には進まない	経営者の意識改革を行いつつ、人的制約があるなかでも対応が可能となるよう、社内の働き方改革を進めるため、コンサルティング派遣などの支援に取り組みます
147	活力	85	主な取り組み	多くの企業や自治体等において、女性が活躍できる社会の実現を目指した方策が展開されているが、表面的・対処療法的なため効果があがらないのではないかと 女性をサポートする制度がいくら整えられても、基本的な土台や有り様が男性のためのものではないか	引き続き意識改革にしっかりと取り組みながら、様々な支援を行います
148	活力	85	主な取り組み	全国どの県でもいえることばかり書いており、大分県らしさが一つもない 大分県の文字もない 大分県らしいことを書かないといけない	県内で活躍する女性のロールモデルなども踏まえ、女性活躍に向けたアクションプランを作ります
149	活力	85	主な取り組み①	「女性活躍宣言実現に向けたモデル企業への中期的支援」を追記 (もっと具体的・個別に継続支援が必要であると考えため)	女性活躍宣言企業が引き続き環境整備に取り組めるよう、宣言企業を中心にセミナー開催やコンサルティング支援に取り組みます
150	活力	85	主な取り組み①	女性の活躍において、制度が変わってきたとはいえ、まだ103万円の壁(意識や企業の手当等)が存在 高齢の女性の有効活用も	全ての女性が活躍できるよう、それぞれのニーズに応じた支援に取り組みます
151	活力	85	主な取り組み②	女性が管理職になる年齢になると、子どもの子育て支援(孫)や親の介護が必要になったりして、能力のある女性が自ら管理職を選ばない傾向がある(特に広域に転勤のある職場では現実に無理) 働き方の希望が通る社会になって欲しい	多様で柔軟な働き方の導入など働き方改革に取り組むとともに、働く場における女性の活躍推進に向けて取り組みます
152	活力	86	主な取り組み②	「②安心して子どもを産み育てながら働ける環境づくり」に「親の介護をしながら働ける環境づくり」の追記を検討 「・出産や育児、介護での休暇を取得する従業員の業務が他の従業員の負担にならないような仕組みづくり」の追記を検討	記載内容を以下のように修正します 「…男女が共に家事・育児・介護に参画する社会環境づくり…」 あわせて、多様で柔軟な働き方の導入や在宅ワークの推進など働き方改革に取り組みます
153	活力	86	主な取り組み③	福祉、環境・地域づくり、防災、環境…に関連する資格取得の支援(を検討しては?)	介護士や防災士など資格取得支援をはじめ、今後も様々なニーズに応じた支援を検討します
154	活力	86	主な取り組み④	男女共同参画という言葉は、LGBTQなどがだいたい認知されている中、男と女の2種類しか出てこないことに違和感がある 今は難しいかもしれないが、将来的には男女、でなくボーダレスで、障がいのあるなしや年齢に関係なく、人が人として生きやすい社会を望む	セクシャル・マイノリティの理解促進などダイバーシティ社会の実現に向け、引き続き啓発に取り組みます

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
155	活力	86	指標	女性が活躍できる環境の一つとして、女性の正規雇用率を挙げる 現行指標でも、非正規では活躍するにも立場に不安定、その年齢外でもパートや非正規雇用(無期雇用含む)は、やはり女性が多いため、環境改善、経営者の意識改善が必要	柔軟性に欠ける女性の就業環境や人事制度の改善、経営者等の意識改革に向け啓発を行います 指標については、国が5年に1度調査を行っていますので、県も各種施策の参考としています あわせて、現状と課題に追記を行います
活力みなぎる地域づくりの推進					
地域の元気の創造					
156	活力	87	現状と課題 主な取り組み ②	現状と課題に宇佐神宮の記載はあるが、そういった建造物は、それ自体が観光になるという記載がない 観光要素として、歴史的建造物、たとえば国宝などもそれ自体を情報発信して来てもらうという意味で観光という言葉を入れてはどうか	【活力】8(1)現状と課題を以下のとおり修正します 「宇佐神宮などの国宝、世界農業遺産※)、ユネスコエコパーク、日本ジオパーク※)や日本遺産※)などの観光資源、ブランド力を活用した…」
生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造					
子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進					
157	発展	89	現状と課題	子どもだけでなく各世代に対して、とても気になっているのが人としての品格・品性の欠如 道徳で身に着くものでもないとは思いますが、検討して欲しい	幅広い人間関係の中で様々な体験を教育活動として提供し、教育の目的である人格の完成を目指し、「知・徳・体」の調和の取れた心豊かな子どもの育成に努めていきます
158	発展	89	これからの基本方向	スポーツ・スポーツ文化を通じて、地域に与える影響力やその重要度を小中高生の段階から指導・教育することにより、子どもたちの将来の人生において「学力」だけでなく「心の育成」、「健康・体力」の大切さを理解させる	記載内容を修正します (P89これからの基本方向、P90主な取り組み)
159	発展	89 103	政策名	「教育県大分」と「創造県おおいた」について、「おおいた」の標記はひらがなに統一すべきでは	「生涯にわたる力と意欲を高める『教育県大分』の創造」という基本理念のもと、9年間の大分県長期教育計画を平成28年3月に策定しており、その基本理念に変更はなく、県民に誤解を招かないためにも、「教育県大分」の標記は変更しないこととしたいと考えています
グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成					
160	発展	91	これからの基本方向	留学生が多い環境を十分に活用し、子どもの世代から抵抗なく外国の方々とのコミュニケーションがとれるような機会を与えることで、言葉や文化を習得しようとする意欲とグローバルな考え方が当たり前にならぬよう環境を構築する	高校生対象のグローバルセミナー、留学フェア、イングリッシュ・デイ・キャンプ等、各種行事における生徒と留学生との交流機会を拡大します
安全・安心な教育環境の確保					
161	発展	94	主な取り組み ①②	市町村レベルの教育支援センターにおいて、臨床心理士や社会福祉士の設置や、不登校・いじめに対する研究・分析ができる研究機関との連携と予算が必要ではないか	市町村教育支援センターの機能強化のため、市町村へ心理や福祉の専門家の配置促進を行っており、県教育センターと連携して不登校・いじめに関する調査・分析を引き続き行っています
162	発展	94	主な取り組み ③	学校の環境の一番は教員であるが、小中学校の教員が少ない	本県では、加配や県単独措置によりできる限りの教員配置を行っており、引き続き、適正な教員配置に努めていきます

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
信頼される学校づくりの推進					
163	発展	96 113	主な取り組み ⑤	スポーツの振興は十分記載されているが、学校教育におけるスポーツがない特に、「スポーツ・文化活動の振興」は私立学校にゆだねている感が見られる	学校教育の中でのスポーツ・文化活動の振興については、各学校の部活動や高等学校体育連盟・高等学校文化連盟への支援を通じて、引き続き、推進していきます
164	発展	96	主な取り組み ⑤	発達に課題のある子どもや貧困の中でも私立学校を選択しないといけない子どもにとって、3年間の途中で挫折することがあるのは残念 授業料助成はあるが、雑費が結構負担となっている	全ての子どもが経済的理由で学びの機会を断念しなくてすむよう、経済負担を軽減する授業料助成のほか、経済的困難を抱える家庭には奨学金や給付金の制度を設けています
芸術文化による創造県おいたの推進					
芸術文化の創造					
165	発展	104	主な取り組み ②	大分県には科学館がないため、県立美術館でロケット等の展示、プラネタリウムをされたのはありがたかった これからも企画として、動植物や恐竜、化学実験などを長期間、子どもたちが科学的経験ができるようにしていただきたい	平成30年度に国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭に併せて、初の科学館の企画展として開催された「海と宙の未来」展では、来場者から好評を博したため、今後もそのような企画展を開催します
芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり					
166	発展	105	主な取り組み ③	芸術文化やカルチャーツーリズムなどと書かれているが、観光という文字が入っていない 観光・地域振興の一体的な推進などは書かれているが、直接的に観光になるんだという書き方をしているかどうか	地域の特徴ある芸術文化を、地域の方が参加して磨いていく取組を継続することにより、地域の宝の再発見や愛着、誇りにつなげていきます 更に、こうした芸術文化による地域の魅力づくりにより、国内外からの誘客も積極的に図るなど、芸術文化振興と観光・地域振興の一体的な推進に努めていきます
文化財・伝統文化の保存・活用・継承					
167	発展	108	主な取り組み ②③	伝統文化の保存・活用・継承については、文化財だけでなく築100年を超える伝統的な日本の住まいと言われる古民家などもその範囲に含めてはどうか 日本の気候風土に育まれてきた伝統的な古民家は、日本の伝統的な暮らしや文化・生活の知恵の継承であり、古民家の活用や保存が、伝統文化の保存・活用・継承に繋がる	伝統的な古民家は貴重な文化財であり、大分市の後藤家住宅など5件が、すでに国の重要文化財として保護されています さらに、史跡や登録有形文化財として保護されているものもあり、引き続き、保存・継承を図るため、指定・登録に取り組めます
スポーツの振興					
県民スポーツの推進					
168	発展	110	主な取り組み ①	「障がい者スポーツの地域・学校等での周知・啓発」を追加 県障がい者体育協会が、小学校等で周知活動を行っているが、まだ件数が少なく、障がい者スポーツの普及促進及び心のバリアフリーを広げるため必要	県障がい者体育協会では、特別支援学校を身近な地域で障がい者スポーツを楽しめる拠点とするため、民間助成を活用して数校を指定し、障がい者スポーツ用具を整備するとともに、体育の授業や部活動に指導者を派遣するなど、障がい者スポーツのさらなる普及に取り組んでいます（【安心】3(1)④参照）
169	発展	110	主な取り組み ②	「体育施設及び学校体育施設等のバリアフリー化の促進」を追加 障がいがある人もない人も、スポーツを楽しむことができるハード面の環境を整備していくことが必要	引き続き、県立スポーツ施設及び学校体育施設の整備・充実に取り組むなかで、バリアフリー化も進めていきます

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
スポーツによる地域の元気づくり					
170	発展	114	主な取り組み ②	別府大分毎日マラソンの市民マラソン化の実現に向けて、前向きに検討いただきたい ①2月という観光業の閑散期における経済効果(10数億円か) ②大分市・別府市という大分県の中心都市で市民参加型のフルマラソンを開催することによる県民のスポーツ参加意欲の醸成に効果があるものと思う	市民マラソン化については、大会のレベルやコースの設定を十分に練り、約7時間に及ぶ規制時間や、迂回路、ボランティアの確保、事務局体制の整備等の課題を関係機関・地域住民と慎重に議論する必要があります
171	発展	114	主な取り組み ②③	スポーツ文化、スポーツツーリズム、2019RWCLレガシーの構築は、永遠に亘る事業であり、10年後にどうしたいのかの型を創造する必要性を感じる 今後、県民と一体となって創出していくことで、その考え方や取り組みを現小中高生に教育をし、現社会人が入口的な型をつくり、それを将来に向け継続・発展させていく必要がある	プロスポーツチームによる学校等の訪問、東京2020オリンピック・パラリンピック大会事前キャンプにおける交流、ラグビー大会・教室の実施等を通して、子どもの頃からスポーツに親しむ機運を醸成することで、将来大人になりそのレガシーを継承していく仕組みづくりに努めます
172	発展	114	主な取り組み ③	RWCLレガシー継承について、大分開催の事実を後世へ伝えるため、周年事業を継続させることができないか(記念イベント、交流試合など)	大分開催の成果を一過性のものとして「ラグビーの魅力と感動の共有、グローバル人材の育成」、「インバウンドのウイング拡大」といったレガシーを将来に向けて繋いでいくことが求められています 世界トップクラスの国際試合等の誘致などを通じて、大分開催のレガシーを将来に向けて繋いでいくこととしています
「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実					
広域交通ネットワークの整備推進					
173	発展	118	主な取り組み ①	東九州自動車道が開通し、九州一周の交通体系ができたが、早期の完全4車線化の実現が必要 さらに、中九州横断道路、中津日田道路の早急な完成が必要 東九州新幹線についても、整備計画路線への格上げが必要	東九州自動車道の4車線化、中九州道・中津日田道路の整備推進については、【発展】4(2)主な取り組み①に記載しており、今後も引き続き推進に取り組みます 東九州新幹線については、今後、整備計画路線への格上げの議論が本格化することに備え、国への働きかけと県民の機運醸成に向けた取組の強化が、これまで以上に大事になってくるため、本年度は、若年層をターゲットにした大学でのシンポジウムの開催や、県民への直接的・継続的な周知を強化する観点から、新たにポスター・横断幕・デジタルサイネージを作成・掲出するなど、更なる取組の強化を図っていきます
174	発展	118	主な取り組み ②	東九州新幹線(大分新幹線)の整備計画路線への格上げは産官・県民が一致協力して推進すべき喫緊の課題だが、なかなか意識統一が図られていないように見受けられる 時間的猶予はもう既になく、早急に具体的な活動の旗振りをお願いしたい	東九州新幹線については、今後、整備計画路線への格上げの議論が本格化することに備え、国への働きかけと県民の機運醸成に向けた取組の強化が、これまで以上に大事になってくるため、本年度は、若年層をターゲットにした大学でのシンポジウムの開催や、県民への直接的・継続的な周知を強化する観点から、新たにポスター・横断幕・デジタルサイネージを作成・掲出するなど、更なる取組の強化を図っていきます
地域の魅力を高める交通ネットワークの構築					
175	発展	120	主な取り組み ②	「・良好な都市景観の形成に資する無電柱化の推進」 ⇒「・良好な都市景観の形成に資する無電柱化や洗練された路面舗装、道路付属物等のデザイン」に変更	記載内容を修正します
その他					
176	その他	-	体裁	プランの体裁について、ユニバーサルデザインの観点から、字の大きさだけでなく、フォントもUDデザインのものがあるため、それらを取り入れてはどうか	県民の誰もが読みやすいプランとなるよう検討します

No.	分野	頁	項目	発言要旨	対応状況
177	その他	-	データ	会議の際にいただいた指標、グラフ、表などのデータを見直しプランに盛り込んでいただきたい	現状や推移など、プランの理解に資するデータ等について記載を検討します
178	その他	-	-	環境が変化していくので、それに対応してプランを修正するのは当然だが、あまり書き換えてしまうと、残りの年数で達成できるのかが不安(ただ、すでに取りかかっているものも多いような印象だが)	新時代「令和」を見通しながら、長期的な視点に立って、将来の大分県の布石となるような見直しを行うとともに、新たな課題にしっかりと対応した取組となるよう見直しを行います
179	その他	-	体裁	「等」と「など」、「取組」と「取り組み」など、表記の統一性を図るべき	記載内容の統一性を図ります
180	その他	-	目標指標	西暦表示しないか	目標指標の和暦・西暦併記など、わかりやすい工夫を検討します
181	その他	-	目標指標	長期計画であることを踏まえると、やはり長期間かけないとできないことを計画することがメイン 単年度で評価しにくいもの(結果がでにくいもの)であってかまわないと考える	政策の目的を的確に表現するとともに、成果指標として把握・比較しやすい目標指標の設定に努めます